

第5学年3組 図画工作科学習指導案

指導者 川崎市立下作延小学校 丸尾 明彦

1. 日時・場所 平成14年10月2日(水)5校時(13:30~14:15)
図工室

2. 活動の指針

B - つくる喜び

つくりたいものの意図や美しさを考えて構想を練り、工夫して表す

材料の特徴や表現方法・技法などとの出会いから生まれる活動を通して、イメージや発想の広がりを楽しんだり、創造的な活動への喜びを感じ取ったりすることを大切にしていこう。

3. 題材名 「元気・夢・未来」(立体に表す:教科書題材名「ねん土の物語」)

4. 活動の指針と題材のかかわり

下作延小学校は、今年20周年を迎える。そして、学校の20歳の誕生日を祝おうということで、いろいろな取り組みが行われてきた。昨年度は各クラスでスローガンを考え、代表委員会で話し合い、「元気いっぱい 夢いっぱい 未来をそだてるわたしたち」に決定した。1学期には低学年は「元気」、中学年は「夢」、高学年は「未来」と、スローガンにちなんだテーマで記念誌の学年のページ作りに取り組んだ。

2学期になり、11月9日に行われる記念式典を1カ月後にひかえ、子どもたちの気持ちも盛り上がってきている。そんな子どもたちの気持ちを造形表現に生かしたいと思った。そこで、スローガンにちなんだ「元気」「夢」「未来」をテーマとしてイメージを広げ、立体に表す楽しさを味わうという本題材を設定した。

材料は子どもたちが自分の思いを自由に表現しやすく、記念として長く残るようにするため、焼成用粘土を選んだ(紙粘土などの方がより自由な表現には適しているが、より強固なものにするためと、小学校で一度は素焼きの作品づくりの体験をしておいた方がよいと考えた)。また、素焼き後に色づけをしたいという子どもは、アクリル絵の具を使用させたい。

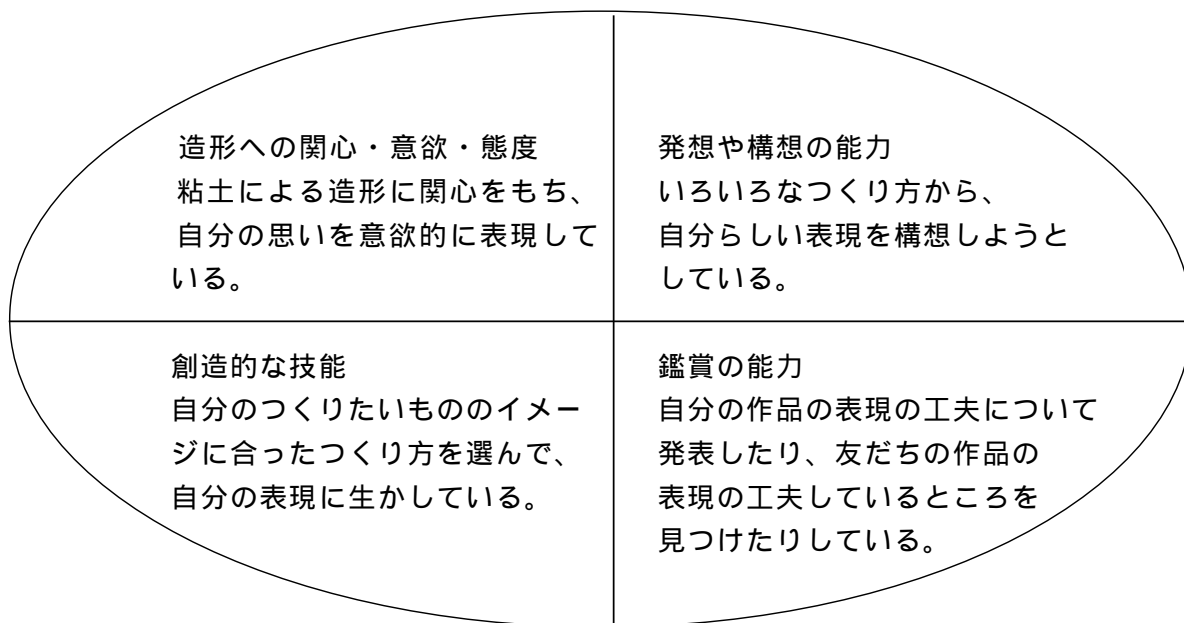
活動にあたっては、今までに油粘土・紙粘土に比べ、土粘土を使った経験が少ないので、最初に土粘土の特性を味わう機会を設けたい。土粘土の手触りやにおいなどを感知、基本的な成形方法を試していく中で、自分の選んだテーマをふくらませ、どのような形にしようかとイメージしていくことと思う。

子どもたちが自分のイメージを表現していく成形方法は多様なものになると思われるが、その一つ一つのよさを見とり、共感や励ましの言葉をかけるなどして、子どもたちが自信をもって楽しく活動していけるようにしたい。

5. 題材の目標

粘土によるいろいろな形づくりをもとに、自分のつくりたいものをイメージし、自分らしい表し方で楽しく表現する。

6. 題材の評価規準



7. 準備

《子ども》・・・身近材、ポリ袋など

《教師》・・・土粘土（40）、陶芸用粘土（一人1～2）、粘土板、粘土べら、たたら板、たたき棒、切り針金など

8 . 指導と評価計画（4時間扱い）

時数	活動内容	教師の働きかけ 評価規準（評価方法）
（本時）	土粘土で、いろいろなつくり方を試す。	<p>板づくり、ひもづくり、型抜きなどの基本的な成形方法を紹介する。</p> <p>【関】自分が興味をもった成形方法を積極的に試している。 （活動の様子）</p>
	<p>テーマをもとに、つくりたいものをイメージする。</p> <p>陶芸用粘土で自分のイメージに合った形をつくる。</p> <p>素焼きをする。 （学校に焼き窯がないので、業者委託）</p> <p>色をつける。 （必要を感じた子だけ）</p> <p>自分や友だちの作品を鑑賞する。</p>	<p>行き戻り</p> <p>元気・夢・未来」をテーマにつくりたいものを考えるよう提案する。</p> <p>【発】テーマをもとに、自分のつくりたいものをイメージしている。 （活動の様子・カード）</p> <p>今までに体験した成形方法などをもとに、自分のテーマにそって粘土で表現することを知らせる。</p> <p>【技】自分のイメージに合った形を、自分なりに成形方法を工夫して表現している。 （活動の様子・作品）</p> <p>色づけしたい子には、アクリル絵の具の使い方を教える。</p> <p>【技】自分のイメージに合った色を、工夫してぬっている。 （活動の様子・作品）</p> <p>自分や友だちの作品の工夫したところなどを発表し合うことを伝える。</p> <p>【鑑】自分や友だちの作品の工夫したところを見つけ、発表したりカードに書いたりしている。 （発表・カード）</p>

9. 本時の活動（本時 1 / 4 時間）

（1）目 標

- ・土粘土をいろいろな形にしてみることを楽しむ。

（2）評価規準

【関】自分が興味をもった成形方法を積極的に試している。

（3）展開

<p>活動内容</p> <p>・予想される子どもの主な活動</p>	<p>教師の働きかけ</p> <p>具体的な評価規準（評価方法）</p>
<p>提案 土粘土でいろいろな形をつくってみよう。</p>	
<p>教師の紹介する成形方法を見て、本時のめあてをつかむ。</p> <p>自分のやってみたい成形方法を試してみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たた板と切り針金を使って、土粘土を板状に切っている。 ・手びねりで形をつくっている。 ・土粘土をひも状にしている。 ・お皿やお椀などを使って形をつくっている。 ・たたき板等を使って土粘土に模様をつけている。 <p>自分や友だちの表し方を見合う。</p>	<p>土粘土をひも状にしたり、板状にしたりして、土粘土でいろいろな形をつくることに興味をもつことができるようにする。</p> <p>一人一人の活動を認め、励ます。</p> <p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの成形方法に集中して取り組んでいる。 ・いろいろな成形方法を試している。 ・いくつかの成形方法を組み合わせている。 ・教師の紹介した以外の成形方法を思いついて試している。 <p>（行動観察）</p> <p>自分や友だちの成形方法で工夫しているところを、みんなに紹介するようにする。</p>